



ごあいさつ

公益財団法人北海道サッカー協会 会長 出口 明

日本代表チームは、2018 FIFAワールドカップロシア大会アジア最終予選で厳しい戦いを乗り越えて見事に6大会連続で6月に開催されるロシア大会に出場することとなりました。是非とも世界の強豪を相手に世界を驚かす戦いをしてほしいものです。また、我が郷土のプロチームである北海道コンサドーレ札幌はJ1昇格を果たして、本年度は素晴らしい戦いぶりでも過去最高のJ1で第11位となりました。2月からはじまるJ1では新監督のペトロビッチのもと上位進出への期待が高まっております。国民、道民のサッカーへの関心が年々高まっており、本協会としても好機ととらえてサッカー人気の継続を図ってまいりたいと考えております。また、うれしいお知らせとして、本年9月7日(金)に日本代表戦が札幌ドームで開催されます。対戦国は未定ですが4年ぶりの日本代表戦となりますので、ロシア大会後の新生ジャパンに応援をお願いいたします。

さて、本協会は2018年度もサッカーファミリーの皆様のためにサッカー環境を整え、プレーヤーズファーストを念頭に諸施策を展開してまいります。顧みますとこの20数年ほどで、1998年の財団法人化にはじまり、2002 FIFAワールドカップ日韓大会札幌開催、本協会の新事務所となる北海道フットボールセンターの開設、2006年には札幌サッカーアミューズメントパークの建設、さらに2013年4月の公益財団法人化等々、本道サッカーを取り巻く環境が大きく変化した発展を遂げてきております。今後も、北海道サッカーの充実を図るべく鋭意努力を続けていく覚悟でありますので、皆様の変わらぬご支援ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

JFA2005年宣言を受けて2006年より「2015プロジェクト」を立ち上げて10年が経過し一定の成果をあげることができました。2016年からは「2025プロジェクト」としてファミリーの拡大と選手強化、競技力の向上とサッカーの普及等を目指しさらに進化をさせてまいります。

具体的な取組みとして、

- ① サッカーファミリー35万人部門
- ② 道民チーム「コンサドーレ札幌のJ1定着部門」
- ③ 道民チーム「エスポラーダ北海道」の上位進出と優勝
- ④ 日本代表・オリンピック代表選手輩出
- ⑤ 北海道代表チームの全国上位進出
- ⑥ なでしこリーグチームの加盟育成
- ⑦ JFLチームの加盟育成
- ⑧ スポーツ医科学に関する取組み

の8部門を設定しております。

いずれも大きな目標ではありますが、プロジェクトチームによりそれぞれの課題解決のための方策を考え実現に向け努力してまいります。ご承知のように、2009年度に「エスポラーダ北海道」がフリーグに参入し活躍しています。女子選手やフットサル選手の日本代表入りやユース世代各年代の日本代表など本道出身選手を輩出しております。北海道コンサドーレ札幌、エスポラーダ北海道へのご声援ご支援もよろしくお願いいたします。上位進出

部門でも毎年ベスト4以内に入るチームが数多くあり、特に今年度は全日本少年サッカー大会で北海道コンサドーレ札幌U-12が準優勝に輝きました。決勝戦のセレッソ大阪戦はTV放映され、先取点を奪い残り4分で逆転され惜しくも全国優勝を逃しましたが、優勝に匹敵する戦いぶりでも本道の少年サッカーの高いレベルを証明してくれました。

北海道のサッカーファミリーについては、数年前まで個人登録数が増加しておりましたが、この4年間ほど減少しております。今後もサッカーの仲間を増やすため、各地区協会・連盟並びに各チームの皆様とともに努力を続けてまいりたいと考えております。周りを取り巻くサッカーファミリーについては、目標の25万人前後を数えていましたが、目標値が35万人となりさらにサッカーの仲間、愛好者を増やしていきたいと考えております。今年度も、キッズからユース年代までの各カテゴリー別の全道大会、5ブロック大会、女子、シニア、フットサルの年代別大会、フェスティバルの開催やリーグ戦が定着化し、各種別で多くの試合が展開されます。また、JFAの後援をいただいている、キッズプログラムやフットサル、女子サッカーの活動推進、第2, 3, 4種世代のリーグ戦の充実を図ってまいります。

また、(公財)日本サッカー協会2002 FIFAワールドカップ記念事業推進委員会の「サッカーを中心としたモデル的スポーツ環境整備事業」の助成補助金を受けて建設された「札幌サッカーアミューズメントパーク」は10年を経過し北海道サッカーの拠点として多くの皆様に利用していただいておりますことに深く感謝申し上げます。2010年度からは、札幌市が建設し本協会が管理指定受託した東雁来公園の2面の人工芝サッカー場でも多くの利用をいただきました。そして、2011年4月には念願であった北海道トレーニングセンターハウス(愛称・夢きたれ)が完成しました。最大100名の合宿・研修ができ、これまで約2,000人を超える皆さんに利用されています。人工芝グラウンドを張り替え、東雁来公園にはナイター照明も完成しております。また、クラブハウス2Fには「北海道サッカーミュージアム」があり、FIFA女子ワールドカップドイツ大会優勝とロンドンオリンピックで銀メダルを獲得したなでしこジャパンで北海道出身の熊谷紗希、高瀬愛美両選手の関係品と2002年 FIFAワールドカップ札幌開催での記念品等、さらに北海道サッカーの歴史に語るもの等々約1,000点を展示しております。お立ち寄りいただき是非ご覧いただければ幸いです。

さて、本協会は数年前から公益法人化に向けて諸準備を進めてまいりましたが、北海道庁の認可を受け2013年4月より公益財団法人北海道サッカー協会として組織を整え新たに出発しております。公益事業の一層の充実を図り、サッカーの普及・振興と競技力の向上を目指し、北海道民の心身の健全な発達とスポーツ文化の振興、社会の発展に貢献する所存です。

尚、本要覧は2005年度より全登録チームに配布し、道協会の取組みが見えるようにし、道協会ホームページの内容もさらに充実させ、各種サッカー情報をリアルタイムに近い形で、皆様方にご提供してまいりたいと考えております。

また、次年度2019年に本協会は創立90周年を迎えます。現在90周年記念誌の編集作業を進めていますが、来年秋には式典祝賀会、記念誌の発行を考えておりますので、皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

今後も、公益財団法人北海道サッカー協会は、世界の素晴らしいスポーツ文化であるサッカー競技をさらに発展させるべく努力してまいります。サッカーを愛するファミリーの皆様方とともに歩み、情報等を共有していきたいと考えておりますので、是非、忌憚のないご意見ご要望をお寄せいただき、HFAのビジョンを実現していきたいと念じております。終わりに、皆様の今年度のご健闘を祈念しご支援ご協力をお願い申し上げます。